

「地域研究科」のプロジェクト紹介

奈良フェニックス大学
おとなの学びとつどいの場



2025年3月現在

盛年による地域づくり

－ 仲間とともに、地域の方々とともに、地域発展を目指す

特定地域の活性化

- (1)天理山辺地域のまちづくりを学ぶ……2頁
- (2)故郷を未来に残すプロジェクトー山添村の活性化……4頁
- (3)矢田地区の発展に向けて……6頁
- (4)黒滝村の魅力の発見と発信……8頁
- (5)矢田っ子の里山……10頁

特定分野の課題解決

- (6)奈良のおみやげ魅力開発……12頁
- (7)地域の絆で防災・減災……14頁
- (8)高齢者の生活支援活動ーささえあい広場「こころ」……16頁

(1) 天理山辺地域のまちづくりを学ぶ

- ◇天理山辺地域は、日本最古の道「山の辺の道」が南北に走り、多くの古墳・神社仏閣等があり、歴史・文化遺産、自然景観にも恵まれ、古代ロマン漂う地域です。
- ◇この地域で地域研究(地域活動に学ぶ)に取り組み11年になります。
- ◇柳本もてなしのまちづくり会が主催する「柳灯会」(33面もの三角縁神獣鏡が出土した黒塚古墳とその周辺を、毎年9月中旬に灯火で彩る)には、毎年、実践参加しています。



黒塚古墳から
出土した
三角縁神獣鏡



柳灯会

黒塚古墳と周濠に灯火が映え、幻想的な風景が生まれる



◇「柳灯会」は今年、22回目を迎えます。「柳灯会」では、「柳本もてなしのまちづくり会」の方々を支援できるよう、準備段階から参加・協力してまいります。



奉賛金提供者の灯籠



「柳灯会」当日の点火作業風景



点火作業を終えて

(2) 故郷を未来に残すプロジェクトー山添村の活性化

山添村は「何もない村」と聞いていたが、村を訪ね、地域の方々との交流の中で、素晴らしい地域資源が見えてきました。

- ◇縄文遺跡をはじめとした歴史遺産
- ◇大和高原の原風景を残す豊かな自然環境
- ◇大和茶の有数の産地
- ◇今日に引き継がれている生活文化



大川遺跡(縄文時代)

事業提案のキーワードは“交流”

- ◇活動は、行政の協力、村民等の理解を得ながら進めています。
- ◇“都市と地域の交流”をベースとした、活力ある地域づくりにつながる事業提案を行っています。
- ◇人とひと、人と地域を結ぶ、「つながりを途切れさせない実践活動」を進めます。



国史跡毛原廃寺(奈良時代)



地域の方々との意見交換会



大和高原に広がる茶畑

ゲストから共働プレイヤーへ進化を果たします。

- ① 広瀬さくらまつりでは、今年度も共働プレイヤーとしての役割を担います。
- ② 竹工房教室は、土産物としての作品の活用可能性の検討、体験学習のプログラム作成などを行います。
- ③ キャンプ場整備についての技術的・制度的協力を行います。
- ④ 快慶作「阿弥陀如来像」活用を通じた地域おこしの可能性の検討を進めます。
- ⑤ 蕎麦プロジェクトは、蕎麦の特産品化を目指します。



広瀬さくらまつりの様子



広瀬やなせキャンプ場



蕎麦の刈り入れ



西方寺の阿弥陀如来像
(快慶作)



竹工房教室
(ブックカフェひろせ)



(3) 矢田地区の発展に向けて

私たちは、住民の方々との交流を深めながら、矢田地区が「より魅力的な矢田地区」へと発展する一助となるよう活動を続けています。

私たちの活動が停滞していた矢田地区を変えつつあります。「活動に参加したい」との声が多く寄せられるなど、活動が着実に広がっています。

主な活動

- ①地域でのホテル、カワニナの生息を、より持続的に、自然に少しでも近づけられるように、矢田山荘、子ども園、矢田寺など4～5カ所での研究・交流を続けます(次頁に写真)。
- ②国際・文化(音楽)交流は、これまでの小さなコンサートを月1～2回に広げ、いろいろな楽器演奏、歌など、プロのミュージシャンも参加して楽しむようにします。
また、これまでに矢田山荘、大和郡山市、奈良を訪れた人を中心に、世界の20あまりの国・地域から奈良に関する気持ち・インフォメーションなどを送ってもらい、月1回ニュースレターを発行します。
- ③上記①②の活動に加え、田畑での作業、ハイキング、観光を、宿泊を含め参加型・体験型プログラムとして提供します。



国際・文化交流
(小さなコンサート)の様子



ゲンジボタルとカワニナの水槽



ゲンジボタルの幼虫

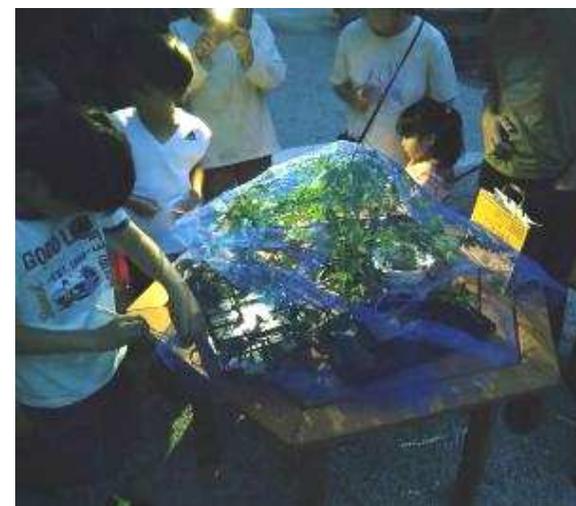


羽化したゲンジボタル

◇矢田寺境内においてのホタル観賞会、地区の子どもたちとのホタル鑑賞会を実施しました。



矢田寺境内でのホタル鑑賞会



子どもたちとのホタル観賞会

(4) 黒滝村の魅力の発見と発信

黒滝村の自然に親しみ、人・文化財・伝統工芸を知ること、その魅力を発信し、少しでも多くの人に村を訪れてもらうことを目的として活動しています。



水組み



チェーンソー
アート作品



村の方々との納涼懇親会



鳳閣寺・理源大師廟参道の清掃後、
大塚住職を囲んで

現状認識と活動の方向性

分野	現状認識	見通しと方向性
林業	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 黒滝村 = 吉野杉のイメージ 森林が最大の資源 ◇ 国産材市場低迷に歯止め が掛からない ◇ 木工産業の後継者難 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 国産材市場の低迷は続きそう ⇒ 森林を環境資源として生かせないか 観光とのコラボレーションを模索 ◇ 木工産業の後継者問題は今後も続くと予想 ⇒ 特産品(土産)としての商品開発、工房で の体験ツアーによる顧客の呼び込み
観光	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 由緒ある史蹟や美しい溪流 などの観光資源がある ◇ 宿泊施設、駐車場が少ない 食事場所や名物料理が少 ない 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ チェーンソーアートやアマゴセンターを活用した 観光客の呼び込み、イベントの開催も検討 ◇ 空き家の有効活用、5G等ネット環境の整備を 検討し、魅力ある村づくりを訴求 ◇ 宿泊施設(「黒滝の宿」etc.)やティールーム (「Boar」)が新規出店 ◇ 資金面ではクラウドファンディングの活用も視野



(5) 矢田っ子の里山

◇耕作されなくなった田畑での野菜・果樹栽培を行うとともに、子どもたちや地域の方々との交流を深め、楽しく活動しています。

◇郷土の歴史と伝説を探るなど「地域をもっと知る」活動を行っています。

①有機・無農薬の野菜づくりを行うことで、地域の方々との交流を増やします。

②ヒマワリを種から植え、地域の方々に来訪いただき、交流を深めます。

③受粉を促すため、ミツバチの飼育を行います。

④蕎麦の植付けと収穫、蕎麦打ち体験を計画しています。

⑤地域に伝わる伝説や歴史を調べ 地域をもっと知ります。

※「発展する矢田の会」、「山添グループ」とコラボしながら進めます。



ヒマワリ畑(7月中旬)



飛竜大権現



史跡 矢田の大石



ミツバチの巣箱設置

耕作されていない田畑での野菜・果樹栽培等の取組みスケジュール



(6) 奈良のおみやげ魅力開発

奈良を訪れた観光客向けの“手軽な奈良みやげ”の開発

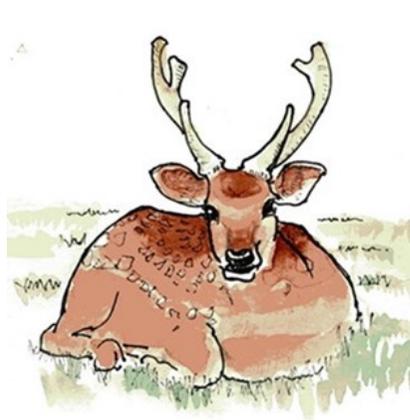
- ◇観光客の方々の来奈記念になる
“手ごろな奈良みやげ”を開発
- ◇誰もがわかる“奈良らしい”図案を使う。

- (1)奈良の鹿をモチーフにした小物を作る。
品名：銘々皿（サイズ12cm～15cm）
意匠：鹿の図案
- (2)ショップでの展示・販売を目標とする。



一閑張り“銘々皿”

河合町コミュニティカフェ「つどい」にて展示・販売中



銘々皿に使った奈良らしい図案

奈良のおみやげの魅力開発

- ◇みつけよう・奈良のおみやげ
- ◇結ぼう・奈良のおみやげと名所(観光地)
- ◇創ろう・“おみやげ”でたどる名所ツアーマップ

物語に沿った日帰り観光ルートの提案をめざし、日帰り観光を実施してきました。

- ①纏向遺跡から大神神社をめぐる 2022年5月12日
おみやげ:三輪そうめん
- ②なら歴史芸術文化村 2022年7月21日
おみやげ:奈良県内の伝統工芸品・特産品
- ③修学旅行の行かない奈良のまちあるき(ならまち) 2022年11月8日
おみやげ:奈良町の老舗菓子屋さん訪問
- ④飛鳥の魅力を発見する 2023年5月11日
おみやげ販売場所:あすか夢の楽市、明日香の夢市茶屋、あすか夢販売所
- ⑤宇陀松山の魅力を発見する 2023年11月2日
おみやげ:奈良漬・きみごろも

2024年度は、「大和茶」を中心に検討を進めました。

日帰り観光ルート体験 → 体験ツアー反省会 → 物語を作成
→ 物語の日帰りルートづくり → 体験学習(数力所) → マップ作成 → 検証と評価

(7) 地域の絆で防災・減災

災害が発生してからでは手遅れ！

奈良フェニックス大学受講生で防災士の方々との「ネットワーク」を活かし、防災・減災意識の啓発活動を行っています。



心肺蘇生訓練(胸骨圧迫)



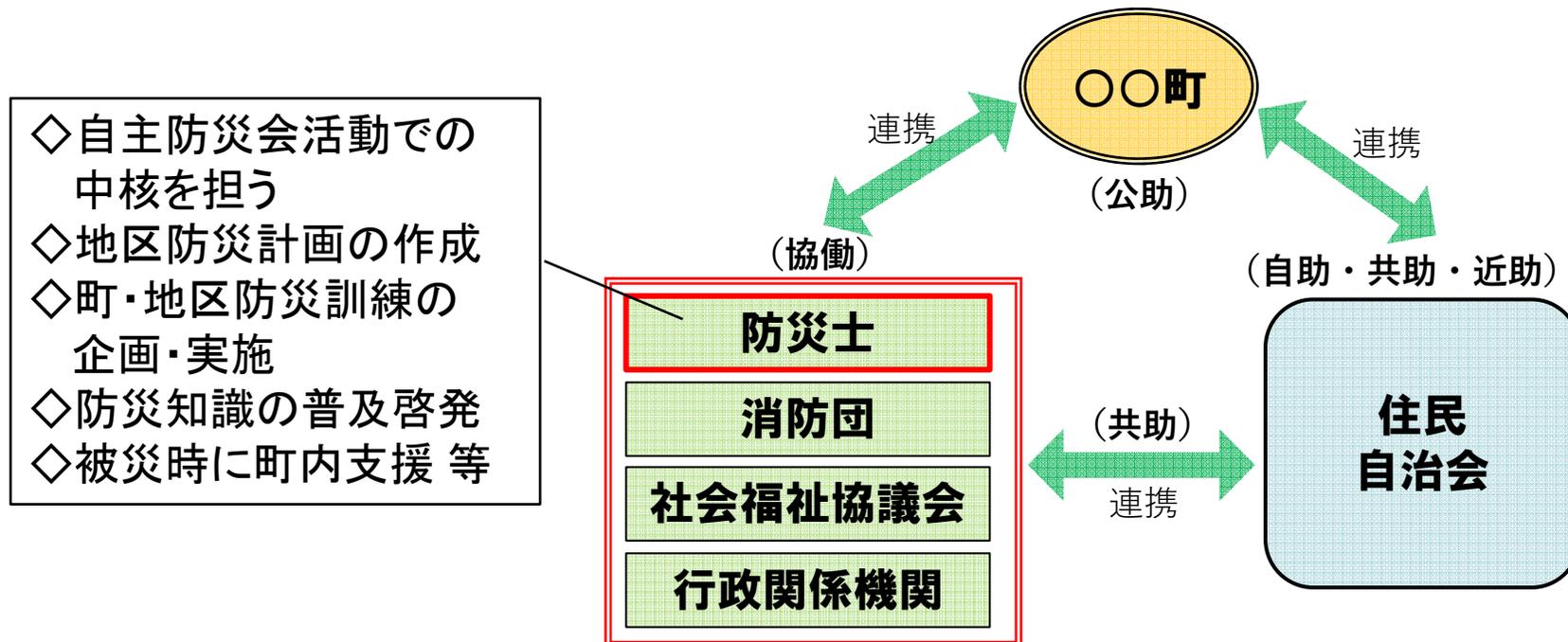
地域・職場で助け合い、被害拡大を防ぐ

発災直後における初期消火、避難誘導、避難所開設などを住民自身の手で行うために、地域や職場の人たちと協力して、災害への備えや防災訓練を進めます。

防災士は、そのための声かけ役となり、リーダーシップを発揮します。

自助・共助・近助による防災・減災

国・地方公共団体による「公助」の役割とその限界を踏まえつつ、国民一人ひとりや企業が、自らの命、安全を自ら守る「自助」、地域の人々や企業、ボランティア、団体等が協働して地域の安全を守る「共助」「近助」の理念やそれぞれの役割について理解し、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を重視し行動しましょう！



(8) 高齢者の生活支援活動ーささえあい広場「こころ」

高齢になることは「今まで普通にできたことが ⇒ できなくなる」

※いづれ誰にも訪れます。

でも！ ◎少しの手助けがあれば ⇒ 普通の生活を続けられる

◎お互い寄り添うことで ⇒ 会話も増え・生きがいも見つかる



ささえあい広場「こころ」を大和郡山市内に設立(今年度は7年目)

◇有償ボランティア活動(サービス利用料1時間900円+交通費)

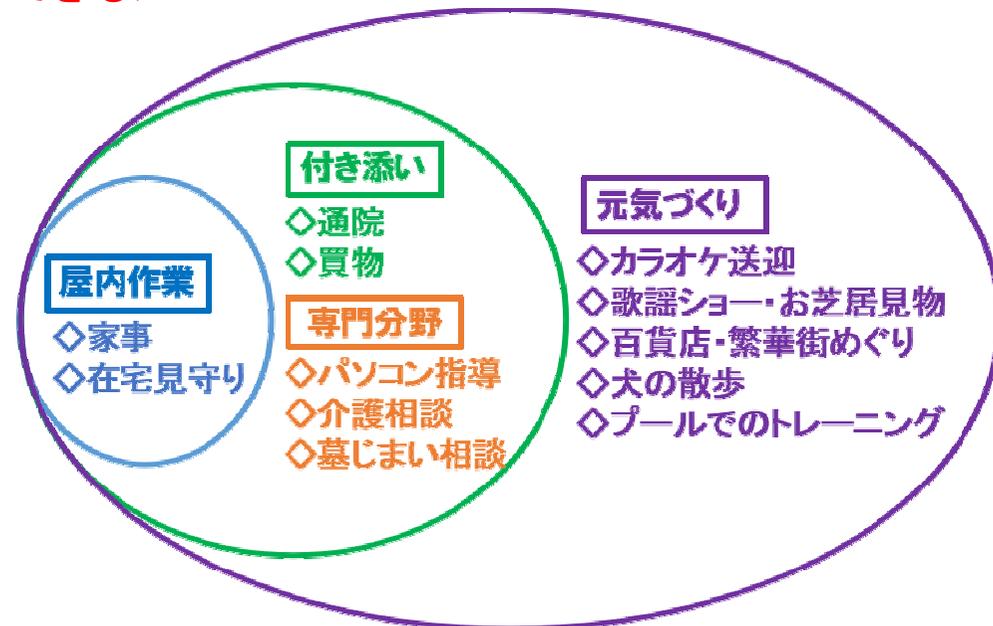
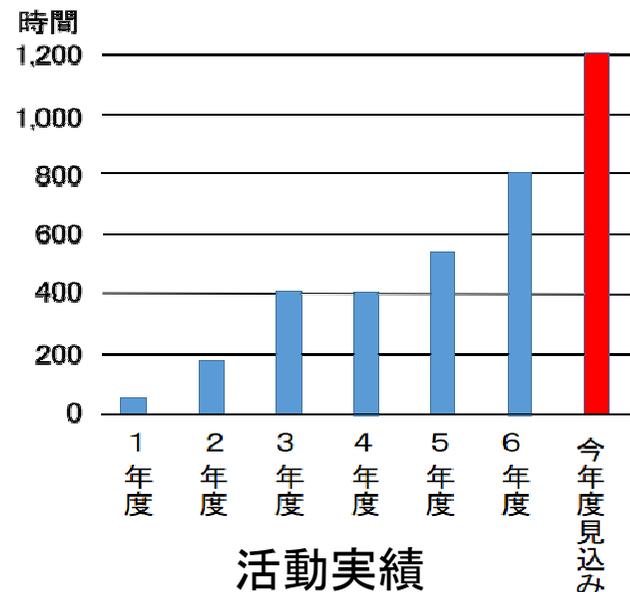
◇希望されることには何にでも対応

元気づくり ⇒ 美容院・鍼灸院・カラオケ・コンサートへの付添いなども

◇利用を希望される方は多い

◇サービス提供側も高齢者(高齢者同士⇒島倉千代子が分かる・歌える?)

※多忙な子どもたちより頼りにできるかも！





予防接種会場
への送迎



犬の散歩



家事支援
(6年ほど継続中)



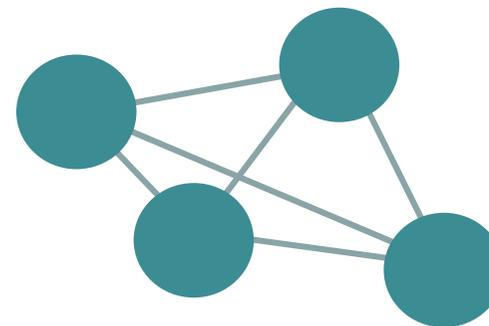
奈良県介護大賞
「あたたか介護賞」
受賞(2023年)

高齢者の方々のニーズは多く、どこの地域でも必要とされます！



**あなたの街でも、
高齢者支援体制をつくりませんか !!**

ノウハウを提供します。
完全バックアップを行います。



ネットワークを組み、相互に協力し合い
笑顔の輪を広げましょう！